令和７年度

網走市における景気動向調査

＜第Ⅱ四半期＞

報　告　書

網　走　商　工　会　議　所

目　　次

第１章　調査要領

１-１　調査時点及び調査対象期間・・・

第１章　調 査 要 領

１-１．調査時点及び調査対象期間

⑴　調 査 時 点 ：令和７年７月１日（火）～令和７年９月30日（火）
⑵　調査対象期間：令和７年７月～９月期実施、及び令和７年10月～12月見通し

１-２．調査対象

網走市に所在する建設業（28件）、製造業（22件）、卸売業（19件）、小売業（39件）、サービス業（43件）の151社を調査対象とした。

１-３．調査方法

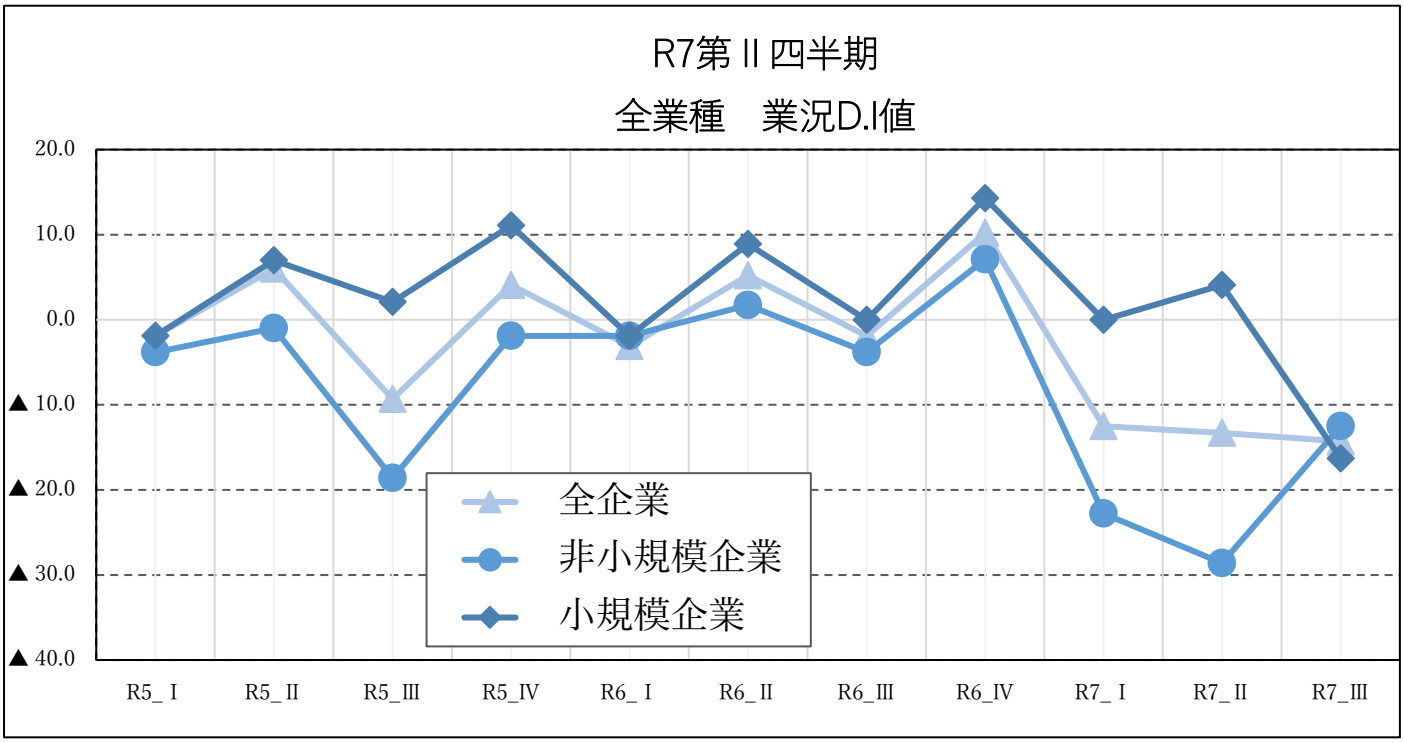
調査対象に案内文と調査票を送付し、FAXもしくは同封の返信用封筒による郵送、インターネット（Googleフォーム）による返信にて回答を受ける。

１-４．回収状況

企業数 / 業種	対象企業数	回答企業数	回 答 率
建 設 業	２８件	26　件（非小規模企業：　12　件、小規模企業　14　件）	92.9％
製 造 業	２２件	17　件（非小規模企業：　9　件、小規模企業　8　件）	77.3％
卸 売 業	１９件	14　件（非小規模企業：　11　件、小規模企業　3　件）	73.7％
小 売 業	３９件	24　件（非小規模企業：　12　件、小規模企業　12　件）	61.5％
サービス業	４３件	24　件（非小規模企業：　12　件、小規模企業　12　件）	55.8％
合　　計	１５１件	105件	69.5％

第２章　概 況

２-１．全体の動向



令和７年度第Ⅱ四半期（７月～９月）の業況は、前年同月比で「好転企業」21.0%「悪化企業」34.3%で、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I 値は△13.3 となり、前回（D.I.値△12.5）に比べ、その差は 0.8 ポイント悪化傾向となっています。

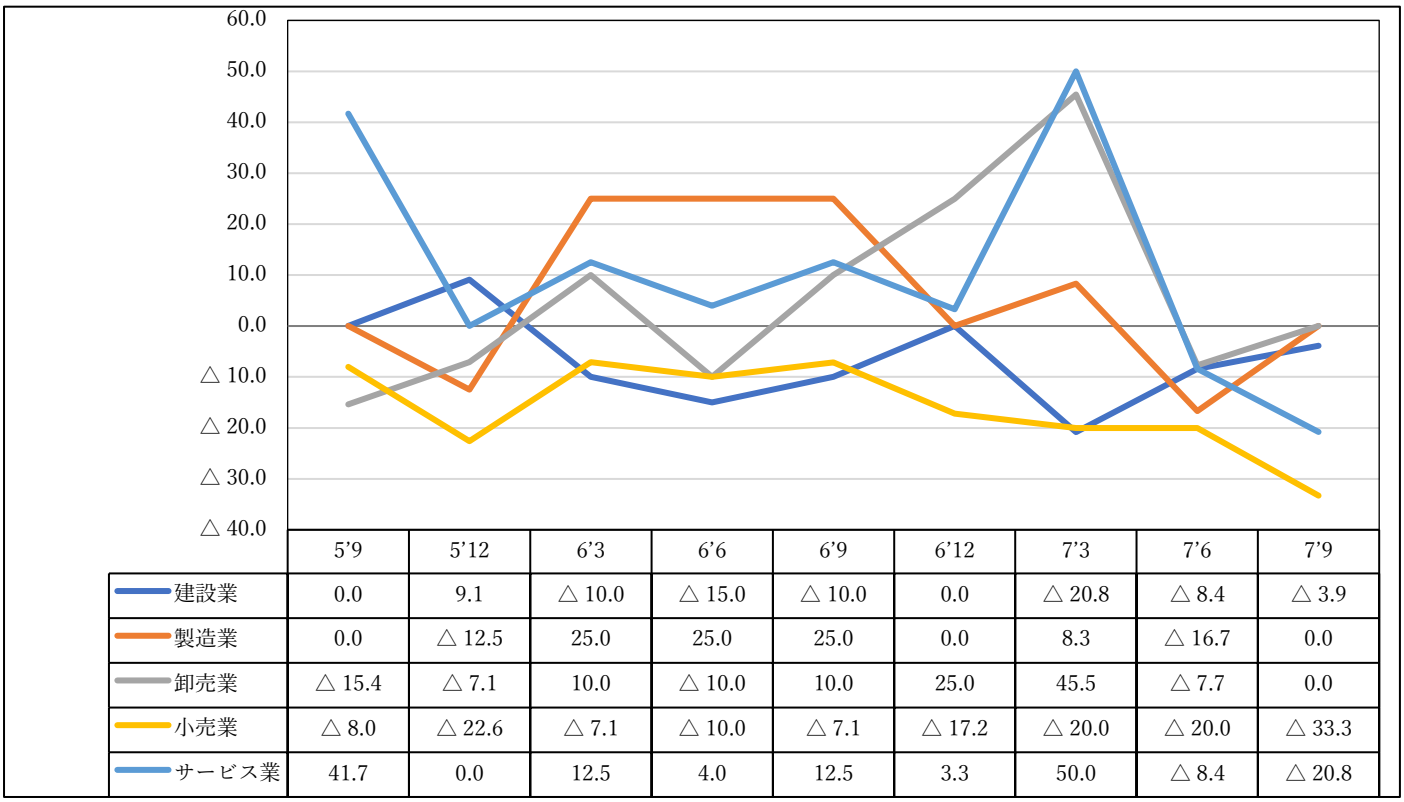
業種別で見た業況は前回比で建設業が 4.5 ポイント好転し**△3.9**、製造業は 16.7 ポイント好転し**±0**、卸売業は 7.7 ポイント好転し**±0**、小売業は 13.3 ポイント悪化し**△33.3**、サービス業は 12.4 ポイント悪化し**△20.8** となりましたが、建設業・製造業・卸売業において好転傾向となりました。

次期（10 月～12 月）の業況判断 D.I 値は△14.3 を予想しております。業種別では前期と比較し、建設業は 0.4 ポイント好転し△3.8、製造業は 5.5 ポイント好転し**±0**、卸売業は 6.6 ポイント悪化し△14.3、小売業は 23.5 ポイント好転し△12.5、サービス業は 41.7 ポイント悪化し△37.5 となっています。

非小規模企業の次期業況見通しは、今期に比べ「好転企業」16.1%、「悪化企業」28.6%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I.値は**△12.5** となり、今期（D.I.値△28.6）に比べ、その差は 16.1 ポイント好転傾向となっています。

小規模企業の次期業況見通しは、今期に比べ「好転企業」14.3%、「悪化企業」30.6%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I.値は**△16.3** となり、今期（D.I.値 4.1）と比べ、△20.4 となっております。

2-2．業種別の動向



	5’9	5’12	6’3	6’6	6’9	6’12	7’3	7’6	7’9
建設業	0.0	9.1	△ 10.0	△ 15.0	△ 10.0	0.0	△ 20.8	△ 8.4	△ 3.9
製造業	0.0	△ 12.5	25.0	25.0	25.0	0.0	8.3	△ 16.7	0.0
卸売業	△ 15.4	△ 7.1	10.0	△ 10.0	10.0	25.0	45.5	△ 7.7	0.0
小売業	△ 8.0	△ 22.6	△ 7.1	△ 10.0	△ 7.1	△ 17.2	△ 20.0	△ 20.0	△ 33.3
サービス業	41.7	0.0	12.5	4.0	12.5	3.3	50.0	△ 8.4	△ 20.8

1）　建　設　業

完成工事高

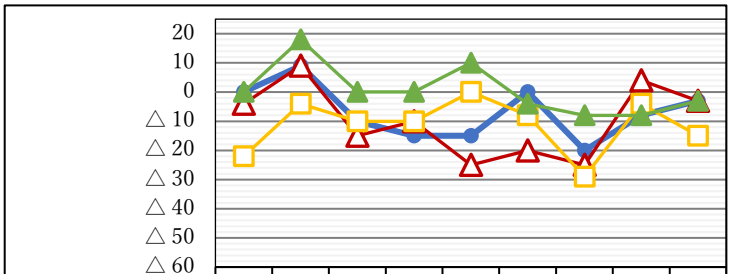
前年比で「好転企業」34.6%、「悪化企業」38.5%、D.I.値△3.9 と前年同期（4.1）に比べ 8.0 ポイントの悪化傾向を示しました。

採　　算

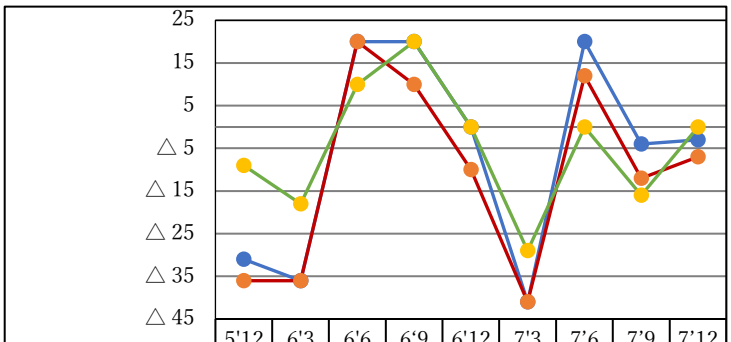
前年比で「好転企業」15.4%、「悪化企業」30.8%、D.I.値△15.4 と前年同期（△4.1）に比べ 11.3 ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値△3.8（前年同期 D.I 値△4.2）、完成工事高 D.I.値△7.7（同△12.5）、資金繰り 0.0（同△16.7）と前年同期に比べ、全ての見通しで好転傾向を示しました。



	5‘9	5'12	6'3	6'6	6‘9	6‘12	7’3	7’6	7’9
業況	0	9	△ 10	△ 15	△ 15	0	△ 20	△ 8	△ 3
完成工事高	△ 4	9	△ 15	△ 10	△ 25	△ 20	△ 25	4	△ 3
採算	△ 22	△ 4	△ 10	△ 10	0	△ 8	△ 29	△ 4	△ 15
資金繰	0	18	0	0	10	△ 4	△ 8	△ 8	△ 3

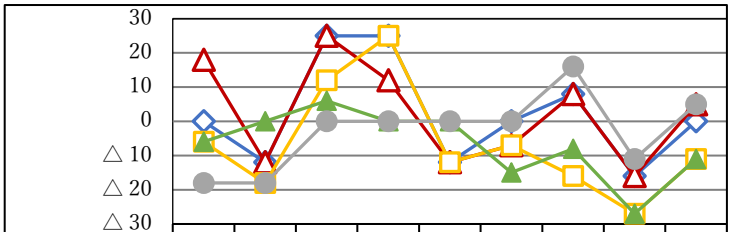


	5'12	6'3	6'6	6'9	6'12	7'3	7'6	7'9	7'12
業況	△ 31	△ 36	20	20	0	△ 41	20	△ 4	△ 3
完成工事高	△ 36	△ 36	20	10	△ 10	△ 41	12	△ 12	△ 7
資金繰	△ 9	△ 18	10	20	0	△ 29	0	△ 16	0

2）　製　造　業

生　産　高

前年比で「好転企業」35.3%、「悪化企業」29.4%、D.I.値 5.9 と前年同期（△16.6）に比べ 22.5 ポイントの好転傾向を示しました。



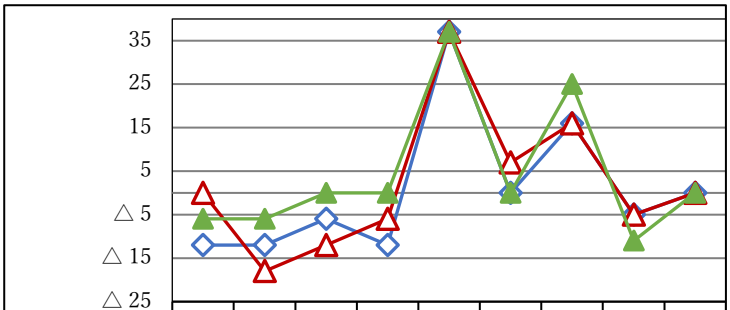
	5'9	5'12	6'3	6'6	6'9	6'12	7'3	7'6	7'9
業況	0	△ 12	25	25	△ 12	0	8	△ 16	0
生産高	18	△ 12	25	12	△ 12	△ 7	8	△ 16	5
採算	△ 6	△ 18	12	25	△ 12	△ 7	△ 16	△ 27	△ 11
資金繰	△ 6	0	6	0	0	△ 15	△ 8	△ 27	△ 11
在庫	△ 18	△ 18	0	0	0	0	16	△ 11	5

採　　算

前年比で「好転企業」11.8%、「悪化企業」23.5%、D.I.値△11.7 と前年同期（△27.8）に比べ 16.1 ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値 0.0（前年同期 D.I 値△5.6）、生産高 D.I 値 0.0（同△5.6）、資金繰り 0.0（同△11.1）と前年同期に比べ、全ての見通しで好転傾向を示しました。

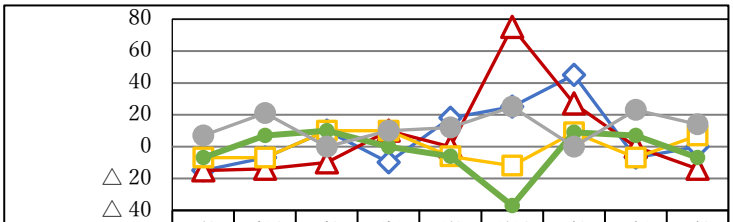


	5'12	6'3	6'6	6'9	6'12	7'3	7'6	7'9	7'12
業況	△ 12	△ 12	△ 6	△ 12	37	0	16	△ 5	0
生産高	0	△ 18	△ 12	△ 6	37	7	16	△ 5	0
資金繰	△ 6	△ 6	0	0	37	0	25	△ 11	0

3）　卸　売　業

売　上　高

前年比で「好転企業」28.6%、「悪化企業」42.9%、D.I.値△14.3 と前年同期（0）に比べ 14.3 ポイントの悪化傾向を示しました。



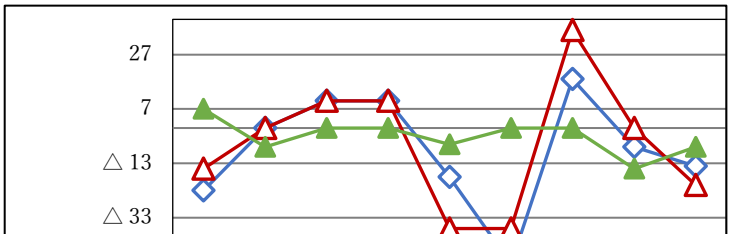
	5'9	5'12	6'3	6'6	6'9	6'12	7'3	7'6	7'9
業況	△ 15	△ 7	10	△ 10	18	25	45	△ 7	0
売上高	△ 15	△ 14	△ 10	10	0	75	27	0	△ 14
採算	△ 7	△ 7	10	10	△ 6	△ 12	9	△ 7	7
資金繰	△ 7	7	10	0	△ 6	△ 37	9	7	△ 7
在庫	7	21	0	10	12	25	0	23	14

採　　算

前年比で「好転企業」28.6%、「悪化企業」21.4%、D.I.値 7.2 と前年同期（△7.7）に比べ 14.9 ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値△14.3（前年同期 D.I 値△7.7）、売上高 D.I.値△21.4（同 0）、資金繰り△7.1（同△15.4）と前年同期に比べ、1 つの指標で好転傾向を示しました。

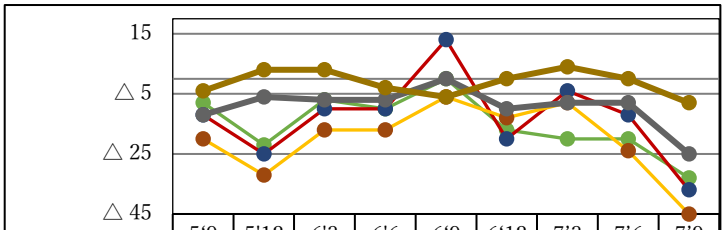


	5'12	6'3	6'6	6'9	6'12	7'3	7'6	7'9	7'12
業況	△ 23	0	10	10	△ 18	△ 50	18	△ 7	△ 14
売上高	△ 15	0	10	10	△ 37	△ 37	36	0	△ 21
資金繰	7	△ 7	0	0	△ 6	0	0	△ 15	△ 7

4）　小　売　業

売　上　高

前年比で「好転企業」12.5%、「悪化企業」50.0%、D.I.値△37.5 と前年同期（△12.0）に比べ 25.5 ポイントの悪化傾向を示しました。



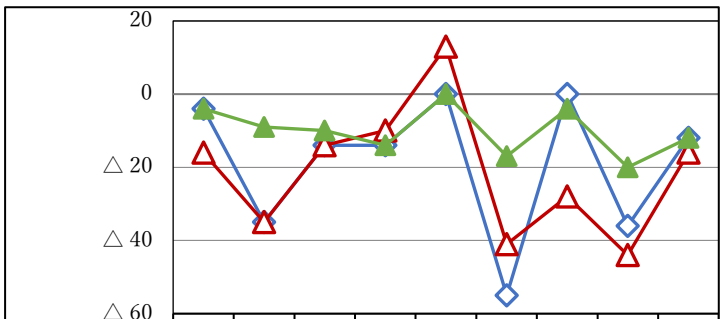
	5'9	5'12	6'3	6'6	6'9	6'12	7'3	7'6	7'9
業況	△ 8	△ 22	△ 7	△ 10	0	△ 17	△ 20	△ 20	△ 33
売上高	△ 12	△ 25	△ 10	△ 10	13	△ 20	△ 4	△ 12	△ 37
採算	△ 20	△ 32	△ 17	△ 17	△ 6	△ 13	△ 8	△ 24	△ 45
資金繰	△ 12	△ 6	△ 7	△ 7	0	△ 10	△ 8	△ 8	△ 25
在庫	△ 4	3	3	△ 3	△ 6	0	4	0	△ 8

採　　算

前年比で「好転企業」4.2%、「悪化企業」50.0%、D.I.値△45.8 と前年同期（△24.0）に比べ 21.8 ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値△12.5（前年同期 D.I 値△36.0）、売上高 D.I.値△16.7（同△44.0）、資金繰り△12.5（同△20.0）と前年同期に比べ、全ての見通しで好転傾向を示しました。

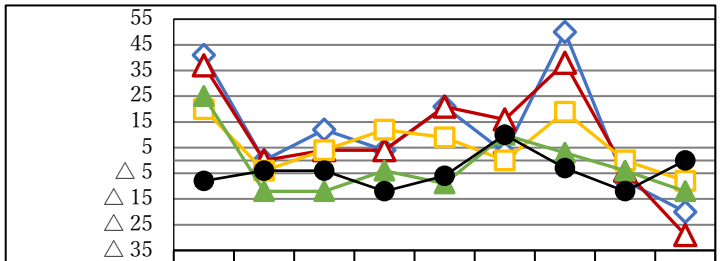


	5'12	6'3	6'6	6'9	6'12	7'3	7'6	7'9	7'12
業況	△ 4	△ 35	△ 14	△ 14	0	△ 55	0	△ 36	△ 12
売上高	△ 16	△ 35	△ 14	△ 10	13	△ 41	△ 28	△ 44	△ 16
資金繰	△ 4	△ 9	△ 10	△ 14	0	△ 17	△ 4	△ 20	△ 12

5）　サービス業

売　上　高

前年比で「好転企業」12.5%、「悪化企業」41.7%、D.I.値△29.2 と前年同期（△4.2）に比べ、25.0 ポイントの悪化傾向を示しました。



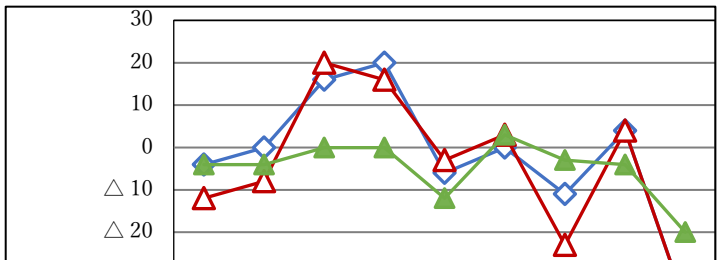
	5'9	5'12	6'3	6'6	6'9	6'12	7'3	7'6	7'9
業況	41	0	12	4	21	3	50	△ 8	△ 20
売上高	37	0	4	4	21	16	38	△ 4	△ 29
採算	20	△ 4	4	12	9	0	19	0	△ 8
資金繰	25	△ 12	△ 12	△ 4	△ 9	10	3	△ 4	△ 12
在庫	△ 8	△ 4	△ 4	△ 12	△ 6	10	△ 3	△ 12	0

採　　算

前年比で「好転企業」16.7%、「悪化企業」25.0%、D.I.値△8.3 と前年同期（0.0）に比べ、8.3 ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値△37.5（前年同期 D.I 値 4.2）、売上高 D.I.値△37.5（同 4.2）、資金繰り△20.8（同△4.2）と前年同期に比べ、全ての見通しで悪化傾向を示しました。



	5'12	6'3	6'6	6'9	6'12	7'3	7'6	7'9	7'12
業況	△ 4	0	16	20	△ 6	0	△ 11	4	△ 37
売上高	△ 12	△ 8	20	16	△ 3	3	△ 23	4	△ 37
資金繰	△ 4	△ 4	0	0	△ 12	3	△ 3	△ 4	△ 20

第3章　業種別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。
設備投資の有無は表１のとおり、設備内容は表２のとおりです。

表１　業種別設備投資の動向

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
実施した	4　件	8　件	4　件	3　件	8　件	27　件
実施していない	22　件	9　件	10　件	21　件	16　件	78　件
合計	26　件	17　件	14　件	24　件	24　件	105　件

表２　業種別設備投資の内容

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
土地	0件	0件	0件	0件	0件	0件
店舗	0件	0件	1件	1件	0件	2件
販売設備	0件	2件	2件	1件	0件	5件
車輌運搬具	3件	2件	2件	0件	3件	10件
付帯設備	0件	4件	0件	0件	1件	5件
ＯＡ機器	1件	1件	0件	1件	4件	7件
福利厚生施設	1件	1件	0件	0件	1件	3件
その他	0件	1件	0件	0件	3件	4件
合計	5件	11件	5件	3件	12件	36件

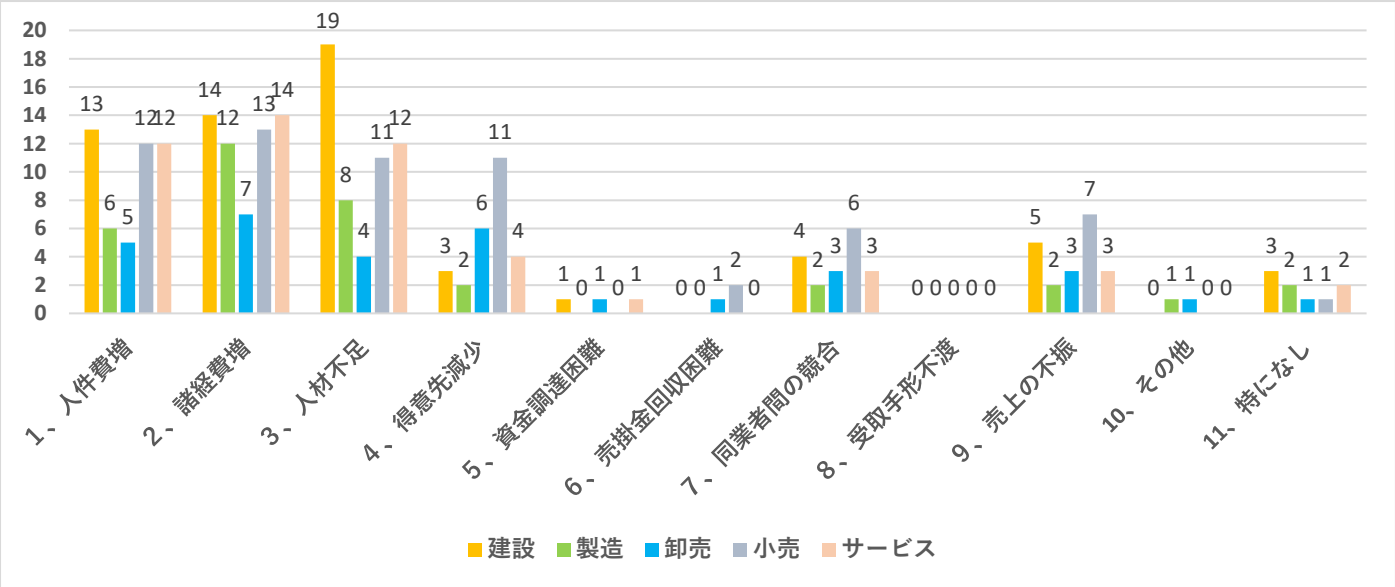
○全業種でみると設備投資を実施したのが27件、実施していないが78件となりました。前回は設備投資を実施したのが20件、実施していないが78件でありました。また、設備内容として最も多かったのは車輌運搬具となっています。前回は車輌運搬具・付帯設備が多く占めていました。そしてその他の内容としては工場、測量機器、水道パイプ交換、工具および備品がありました。

第４章　業種別　経営上の問題点

表１　業種別上位

	１　位	２　位	３　位	４　位	５　位
建　設　業	人材不足	諸経費増	人件費増	売上の不振	同業者間の競合
製　造　業	諸経費増	人材不足	人件費増	得意先減少 売上の不振 同業者間の競合 特になし	―
卸　売　業	諸経費増	得意先減少	人件費増	人材不足	同業者間の競合 売上の不振
小　売　業	諸経費増	人件費増	人材不足 得意先減少	―	売上の不振
サービス業	諸経費増	人件費増 人材不足	―	得意先減少	同業者間の競合 売上の不振
全　業　種	諸経費増	人材不足	人件費増	得意先減少	売上の不振

グラフ１　業種別件数



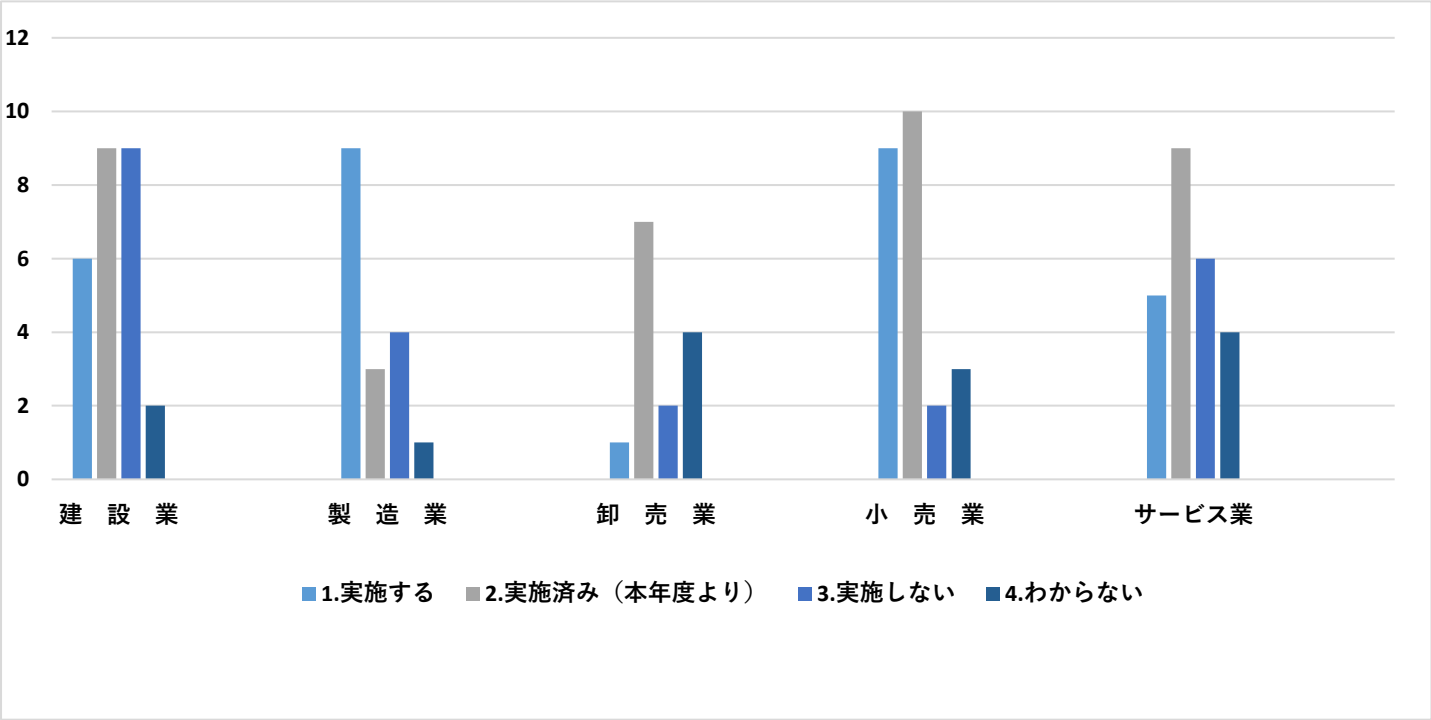
※複数回答あり

○全業種でみると最も多かったのは「諸経費増」でした。また、業種別でみると、「人材不足」、「人件費増」が多く占めておりました。

第５章　最低賃金改定による賃上げについて

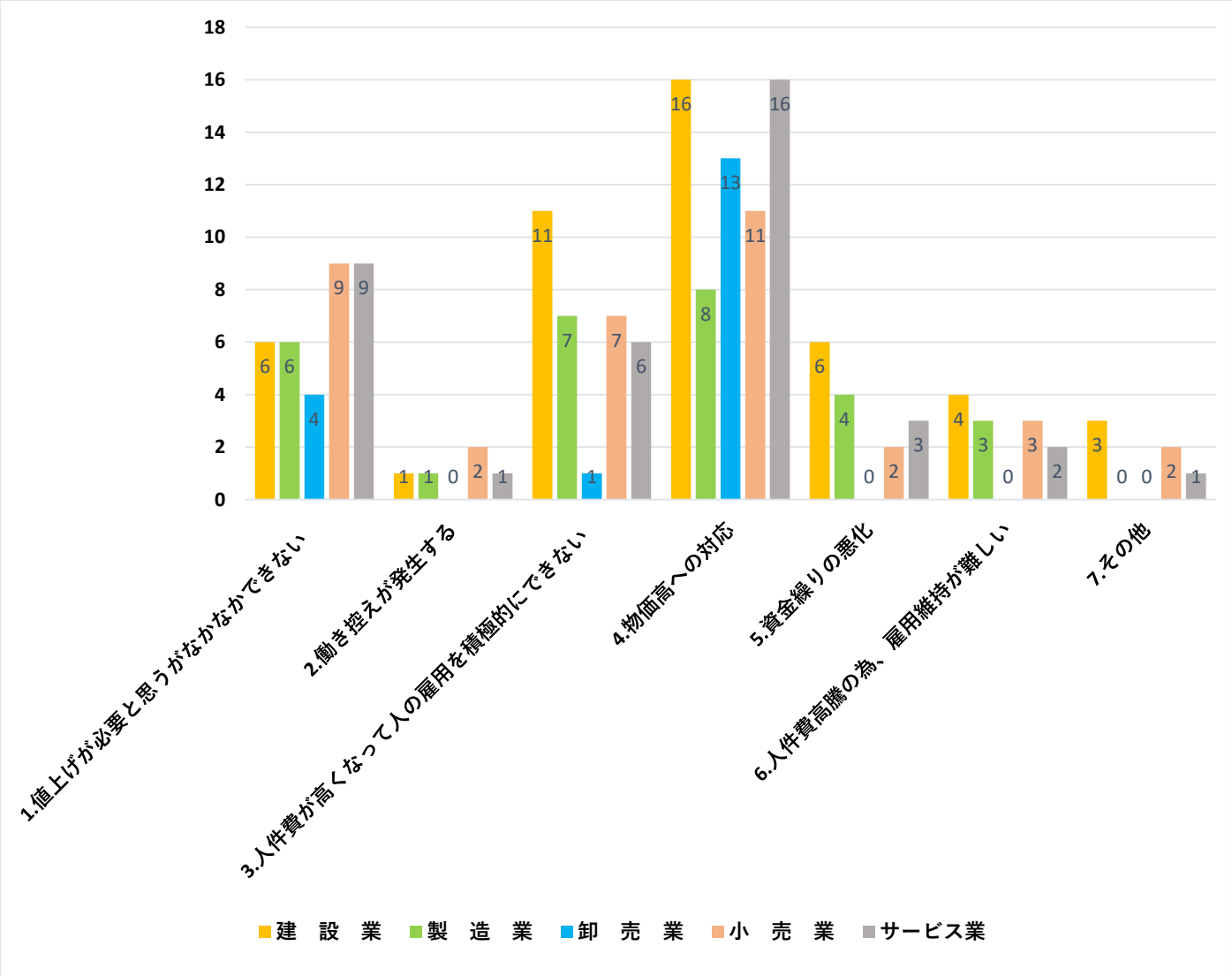
・２０２５年１０月より、最低賃金が改正されます。貴社では２０２５年１０月より賃上げを実施しますか？

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
1.実施する	6件	9件	1件	9件	5件	30件
2.実施済み（本年度より）	9件	3件	7件	10件	9件	38件
3.実施しない	9件	4件	2件	2件	6件	23件
4.わからない	2件	1件	4件	3件	4件	14件
合　　計	26件	17件	14件	24件	24件	105件



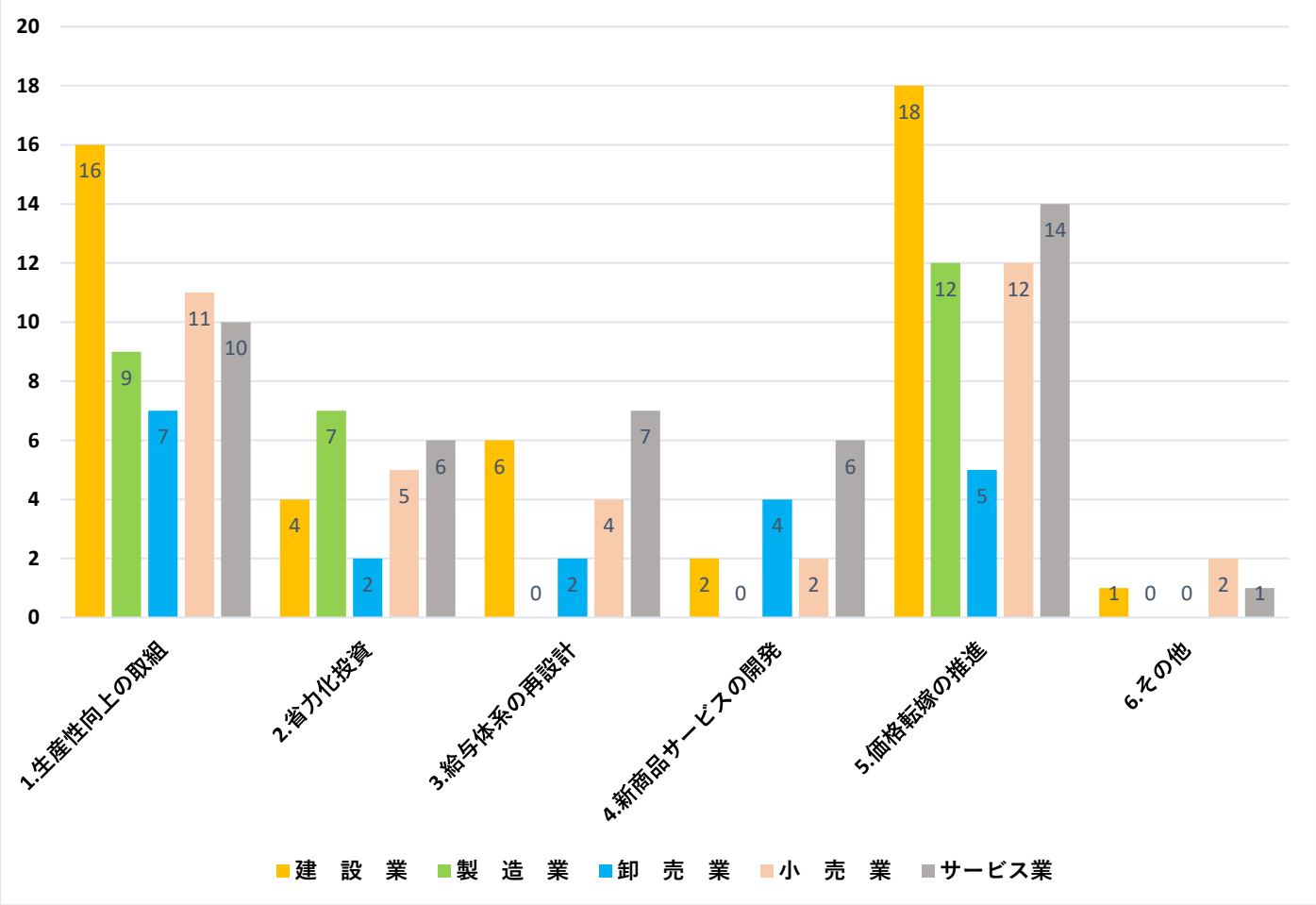
・今後複数年にわたり、賃上げが続くことが想定されます。貴社が直面する問題は何ですか？（複数回答）

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
1.値上げが必要と思うがなかなかできない	6 件	6 件	4 件	9 件	9 件	34 件
2.働き控えが発生する	1 件	1 件	0 件	2 件	1 件	5 件
3.人件費が高くなって人の雇用を積極的にできない	11 件	7 件	1 件	7 件	6 件	32 件
4.物価高への対応	16 件	8 件	13 件	11 件	16 件	64 件
5.資金繰りの悪化	6 件	4 件	0 件	2 件	3 件	15 件
6.人件費高騰の為、雇用維持が難しい	4 件	3 件	0 件	3 件	2 件	12 件
7.その他	3 件	0 件	0 件	2 件	1 件	6 件
合　計	47 件	29 件	18 件	36 件	38 件	168 件



・賃上げが続くことを想定した中で、問題の解決策は何ですか？（複数回答）

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
1.生産性向上の取組	16 件	9 件	7 件	11 件	10 件	53 件
2.省力化投資	4 件	7 件	2 件	5 件	6 件	24 件
3.給与体系の再設計	6 件	0 件	2 件	4 件	7 件	19 件
4.新商品サービスの開発	2 件	0 件	4 件	2 件	6 件	14 件
5.価格転嫁の推進	18 件	12 件	5 件	12 件	14 件	61 件
6.その他	1 件	0 件	0 件	2 件	1 件	4 件
合　計	47 件	28 件	20 件	36 件	44 件	175 件



第6章　業界の景気動向等その他のご意見

〇業界の問題点について

【建設業】

・人員不足。賃上げに対する雇用主への助成。

・資材高騰の結果、住宅着工数の激減と高齢化今後継続していける道を探す事が必要。

・大工不足である。

・繁忙期の日曜日の休みが大変です。若者が少ない。

【製造業】

・資材の仕入れ額の上昇により販売単価を上げていくつもりだが、大手に対向することが困難になりつつあるので、どう商品を新しくして売り込むかがポイントと思っている。差別化をはかって大手が手出し出来ないスキ間に入る。

・漁獲量減少による次期に対する売上不安。

・賃上げで、パート（扶養者）の時間調整が増えている。繁忙期への対応が難しくなっている。不安。

【卸売業】

・人材成長の乏しさがめだつ。若手人材の確保が難しい。嘱託職員の働き方に期待が出来ない。

【小売業】

・人口減少の場合厳しい状況になる。

・人材不足。

・観光業の為、インバウンド客は漸増で来たがこれ以上は望めない。SNS などの情報手段の強化が必要だ。常に自己変革が必要。時代の変化に適応すること。

【サービス業】

・営業職の人手不足

・技術職員の高齢化

・クリーニング主要商品の変化に対応する

・人材不足による業務の縮小

・無許可業社の横行

・今年４月に入札が決まり、実際入札が決まったのが１１月になり６月から始まる予定が１１月になると仕事が決まっていてなかなか仕事が取れない。その分売上が少ない。毎年あるので急に半年空くと大変です。